

4月に和歌山県教育委員会教育長に就任しました宮崎 泉です。よろしくお願いいたします。

新元号「令和」のもとで新しい時代が始まりました。わが国最古の歌集「万葉集」からの引用であり、日本の歴史・文化を大切にしようという思いを感じるとともに、引用文と県花「梅」の縁に深く思いを巡らせたところです。本県は自然や文化など数多くの優れた特色をもっています。それら本県がもつ強みを生かしながら、新しい元号とともに、「和歌山らしい教育」を進めていきたいと考えています。

家庭教育は子供たちへの大切な贈り物

教育長エッセイ

教育長
みやざき 泉



さて、近年は、核家族化や少子化、地域のつながりの希薄化などにより、子育ての悩みを相談できる人が減り、子育てについて学ぶ機会が少なくなっています。しかしながら、子育ての環境が変化しても、子供たちの成長を支える教育の原点は、いつの時代も「家庭」であることに変わりはありません。

毎日朝ごはんを食べること、親子の会話を大

切にすること、ゲームやスマホの利用ルールを決めること、自然に触れて遊ばせること、暮らしの中に本を置くことなど、子供たちは家庭での体験を通して、基本的な生活習慣や社会でのマナー、他人への思いやり、豊かな情操などを学んでいきます。家庭は、子供たちが最も身近に接する社会であり、そしていつも安心して過ごせる場

所でなければなりません。

和歌山県教育委員会では、「家庭教育サポートブック」という小冊子を作成しています。子育ての悩みを抱えた方々の気持ちを少しでも楽にしつつ、子育てについて学習できる内容になっています。さらに、子育てについての相談機関や窓口も掲載しています。今年度、改訂版を発刊し、県教育委員会のホームページにも掲載していますので、是非ご覧ください。

最後になりましたが、和歌山の教育の更なる充実・発展のため、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。



家庭教育サポートブックの表紙

右記のQRコードを読み取ると冊子を見ることができます



Wakayama
Prefecture
education public
relations paper

第 41 号

令和元年[2019]7月

和歌山県教育広報紙

輝く、紀の国の教育

特集

子供から大人まで
「学びたい」を応援します

令和2年度に大学等へ進学を考えている皆さんへ

大学生等進学給付金のお知らせ

和歌山県では、進学意欲と学力が高いにも関わらず、経済的な理由で進学を断念することがないように、和歌山県大学生等進学給付金制度を設けています。

給付金額 年60万円 ●連続する4年間で4回以内 ●4年間総額 最高240万円

採用予定数 40名 ●受給者選考検査を実施予定 ●支給要件あり(大学卒業後和歌山県にUターン希望者、非課税世帯等)

問い合わせ 大学生等進学給付金について……生涯学習局生涯学習課奨学班 ☎073-441-3663
国の高等教育修学支援制度について……日本学生支援機構奨学金相談センター ☎0570-666-301

国の高等教育修学支援制度が新しくなります。

令和2年4月から、真に支援が必要な低所得世帯の学生に対し、大学、短期大学、高等専門学校、専修学校専門課程における授業料・入学金が減免され、併せて給付型奨学金が支給されます。

教育ラジオ番組 WBS和歌山放送 定期便 教育の窓

放送日時 令和元年4月から令和2年2月までの
毎月第2・第4火曜日 18:30~18:45
(8月第4火曜日、12月第4火曜日、1月第2火曜日は除く)

- 今後の放送日程
- 8月13日 自然博物館・特別展「われる! ゆれる! 地震のひみつ」
 - 9月10日 きのくにコミュニティスクール
～古佐田丘中学校・橋本高校の取組～
 - 9月24日 湯浅町におけるふるさと学習の取組
～地域の人材を生かして～
 - 10月 8日 紀伊風土記の丘・秋期特別展
「開かれた館 ～紀伊の横穴式石室と黄泉の世界～」

※都合により、放送内容が変更になる場合があります。
※テレビ・ラジオとも、これまでに放送した番組については、和歌山県教育委員会ホームページで公開しています。
<https://www.pref.wakayama.lg.jp/kyouiku/kouhou/kouhou/02/index.html>

教育テレビ番組 テレビ和歌山 はばたく紀の国 ～教育は今～

放送日時 令和元年9月から令和2年2月までの
毎月第1・第3日曜日 10:30~10:50
(9月第1日曜日及び1月第1日曜日は除く)

- 今後の放送日程 ※すべての番組に手話通訳がつきます。
- 9月15日 子供と本をつなぐ案内人
～学校司書から発信する学校図書館活動～
 - 10月 6日 子供たちの「好き」をもっと深める
～ジュニア自然博アカデミー～
 - 10月20日 スポーツでまちを元気に
～歓迎! ラグビーワールドカップ2019ナミビア代表チーム～
 - 11月 3日 プログラミング教育で育む次世代の力～きのくにICT教育～

和歌山県 教育広報番組 検索

和歌山県教育委員会事務局 総務課 〒640-8585 和歌山市小松原通1-1 TEL.073(441)3641 FAX.073(432)4517

和歌山県教育委員会では、今回紹介した内容以外にも、様々な取組を行っています。詳しくは、和歌山県教育委員会のホームページをご覧ください。また、皆さまのご意見・ご要望をお待ちしています。

和歌山県教育委員会 検索

- 「紀の国わかやま総文2021」
和歌山県で開催!.....P4
夏休み展示イベント.....P5
きのくにコミュニティスクール(上富田町).....P6
きのくに教育めぐり(紀美野町教育委員会).....P7

表紙写真:和歌山市立直川小学校「埴輪づくり」(エキスパート職員派遣事業:紀伊風土記の丘から)



『学びたい』を応援します



学び始めること、学びを深めることで人生は大きく変わります。新しい自分に出会い、新しい人生を切りひらくために、和歌山県教育委員会は「学びたい」と思っている子供から大人までを全力で応援しています。

1 くわしく学びたいを応援

DETAILS

エキスパート職員派遣事業

対象 幼児～高校生

県教育委員会事務局や各社会教育施設の職員、県立学校の教員等が、学校に出向き、専門知識や技術を「出前授業」という形で提供しています。

スポーツ、科学、芸術、文化など、様々な分野のエキスパート職員の指導によって、子供たちの好奇心や探究心を育てています。



「マット運動」の出前授業（和歌山市立川永小学校）

高校生のための和歌山未来塾

対象 高校生

科学技術、経営、スポーツ、芸術など様々な分野の第一線で活躍する方を講師とした講演会を行っています。講師のお話の後には、十分な質疑応答を行い、講師の方と生徒が直接交流する機会も設けています。

「最前線の話が聞きたい」「自分の興味を深めたい」など、生徒の学びに対する意欲に応える場となっています。



講演「企業人って面白い！」

2 楽しく学びたいを応援

ENJOY



受検の様子（かつらぎ町立妙寺中学校）

わかやまふるさと検定

対象 中学生・高校生

ふるさとへの愛着を深めてもらうことを目的として、インターネット上で受けられる「わかやまふるさと検定」を実施しています。検定を受けることで、「ふるさと和歌山」についての新しい気づきや発見を通して、興味・関心をより深め、ふるさとを愛し、ふるさとのことをもっと学びたいと思う機会になっています。



科学力向上ゼミ

きのくにジュニア科学オリンピック きのくに科学オリンピック

対象 中学生・高校生

全国の中高生が科学の力を競う「科学の甲子園（ジュニア）」の県予選として開催しています。理科、数学などに関する筆記競技や、指定された材料でモーターカーやホバークラフトを工作する実技競技などにチームで協力して取り組みます。科学好きな生徒が集い、切磋琢磨しながら学校で学んだ成果を発揮しています。

3 いつまでも学びたいを応援



LIFELONG

令和元年9月1日から開講!

きのくに学びの教室

対象 社会人

年齢、国籍に関係なく学べる機会を提供するため、定時制・通信制高校4校に社会人を対象とした「きのくに学びの教室」を開設します。

★授業料はありません。
★自分のペースで勉強できます。

対象はどんな人?

- 和歌山県に住んでいる15歳以上の社会人で、
 - ◎学び直しがしたい人
 - ◎日本語が不自由で生活にこまっている人
- ※在留資格が定住者、日本人や永住者の配偶者等、家族滞在の人

どんな講座があるの?

- ①「よみかき・生活」
生活に必要なひらがな・カタカナ・簡単な漢字の読み書きなど
 - ②「日本語・生活」
生活に必要なやさしい日本語など
 - ③「基礎国語」「基礎数学」「基礎英語」
中学校程度までの国語・数学・英語
- ★自分の勉強したい講座を、自由に選べます!

- #### どこで開講されるの?
- 伊都中央高等学校（橋本市）
 - きのくに青雲高等学校（和歌山市）
 - 南紀高等学校（田辺市）
 - 新宮高等学校（新宮市）

申し込み・ご相談については
生涯学習課 人権教育推進室
☎073-441-3719
和歌山県教育委員会 きのくに学びの教室 検索



みんなで学べる体験教室!

対象 子供～社会人

県立図書館文化情報センターでは、生涯学習を目的とする県民のボランティア活動や学びたい人の学習活動を支援するために、ボランティア団体やNPOの活動の場と機会を提供しています。お手玉教室や折り紙教室、活き活きデジタルライフなど、当日参加可能なさまざまな体験教室や、年3回のフェスタ【遊ing】を実施しています。



ふれあい学習研究会「活き活きデジタルライフ」

サマー遊ing「おもしろ科学教室」

就学・修学・就職を応援する 給付・貸与制度

CHECK!!

和歌山県では、全ての児童生徒が安心して教育を受けることができるよう、教育に関する経済的負担を軽減する支援の充実に努めています。

給付・貸与制度の対象

- ◎小・中学生
- ◎高校・大学等への進学者又は在学者
- ◎大学理系学部、研究科に在籍する大学3年生・大学院1年生
- ◎特別支援学校の児童・生徒
- ◎保育士を志望する者
- ◎医師・看護職員を志望する者
- ◎介護福祉士を志望する者
- ◎農林業への就職を志望する者
- ◎母子父子家庭等
- ◎生活保護受給世帯
- ◎児童養護施設退所者

詳細については、スマートフォン等で右記QRコードを読み取り、ご確認ください



紀の国わかやま総文2021



【ポスター原画】県立向陽高等学校 山本 彩葉さん

全国高等学校総合文化祭とは

全国の高校生による国内最大規模の芸術文化活動の発表の場であり、「文化部のインターハイ」とも呼ばれています。高校生の創造活動の向上や相互交流を深めることを目的として開催され、全国から約2万人の高校生が参加する文化の祭典です。この全国高等学校総合文化祭が2021年和歌山県で初めて開催されます。これまで生徒委員会による大会PR活動やポスター原画、イメージソングなどの公募に取り組んできました。これから開催に向けた活動をますます盛り上げていきます。

開催時期 令和3年7月31日(土)～8月6日(金) 7日間

開会行事 総合開会式、パレード

開催部門 全22部門

規定部門 (19部門) 演劇、合唱、吹奏楽、器楽・管弦楽、日本音楽、吟詠剣詩舞、郷土芸能、マーチングバンド、バントワリング、美術・工芸、書道、写真、放送、囲碁、将棋、弁論、小倉百人一首かるた、新聞、文芸、自然科学

協賛部門 (3部門) 特別支援学校、英語、軽音楽

ゴールデンキッズ 発掘プロジェクト



優れた素質を有する子供たちを早期に発掘し、将来、国際舞台で活躍できるアスリートを育成するため、ゴールデンキッズを選考する体力測定会を開催します。対象は、小学校3、4年生です。たくさんのご応募お待ちしております!

体力測定会 第1ステージ

- 開催日時**
- ① 日程: 9月29日(日) 会場: 新宮市立総合体育館
 - ② 日程: 10月26日(土) 会場: 印南町体育センター
 - ③ 日程: 11月16日(土) 会場: 和歌山ビッグウエーブ
 - ④ 日程: 11月17日(日) 会場: 和歌山ビッグウエーブ

募集期間 8月21日(水)～9月24日(火)

ゴールデンキッズ発掘プロジェクト 検索

わかやまりレーマソン ～パンダRUN～

子どもからアクティブシニアまで気軽に参加できるレーマソンを今年も開催します。パンダの衣装も大歓迎! みんなで走って、食べて、遊んで、仮装して1日を満喫しませんか? 多くの皆さまのご参加をお待ちしています!

開催日時 10月20日(日)
コース 田辺スポーツパーク特設コース (1周1.5km)

- 種目**
- A ファミリーマソン (1.5km)
 - B ハーフリレーマソン (21km)
 - C フルリレーマソン (42.195km)
- 募集期間** 6月24日(月)～9月10日(火)
- 参加料**
- A 無料
 - B・C 高校生以上 2,000円/1人
 - 小・中学生 1,000円/1人

その他 会場内では、肉をテーマとしたグルメブースや子供も楽しめるスポーツ体験会・キッズエリアの開設を予定しています。

わかやまりレーマソン～パンダRUN～ 検索



展示イベント



県立紀伊風土記の丘 和歌山市岩橋1411 ☎073-471-6123

夏期企画展

『すき・すき・からすき～田んぼにお水が入るまで!～』

期 7月20日(土)～9月1日(日)

和歌山県内の鋤(すき)・鍬(すき)と、カラスキのなかでも古い形とされる長床犁(ちょうしょうすき)に焦点をあて、これらの道具の移り変わりを展示します。



カラスキ(長床犁)

秋期特別展

『開かれた棺(ひつぎ)～紀伊の横穴式石室と黄泉(よみ)の世界～』

期 9月28日(土)～12月1日(日)

天王塚古墳に代表される石柵・石梁をもつ岩橋型横穴式石室と和歌山県内の横穴式石室を紹介し、古墳時代の紀伊の人々がみた黄泉の国の世界を探ります。



天王塚古墳 石室

県立博物館 和歌山市吹上1-4-14 ☎073-436-8670

夏期企画展

『南葵(なんき)音楽文庫の至宝』

期 7月13日(土)～8月25日(日)

当館と県立図書館に寄託されている南葵音楽文庫の資料群(読売日本交響楽団蔵)のうち、書写楽譜・印刷楽譜の重要資料を選んで紹介します。これらの楽譜により、西洋音楽の歴史をたどります。



パーセル(ディドとエネアス)

県立図書館 和歌山市西高松1-7-38 ☎073-436-9500

『サマー遊ing2019』

期 7月24日(水)～7月27日(土)

ウミガメの赤ちゃんとふれあって和歌山の海を学ぼう! おもしろ工作教室や貝殻細工教室、勾(まが)玉作り教室なども開催します。



『手づくり紙芝居コンクール』

募集期間 7月20日(土)～9月10日(火)
最終審査・表彰式 11月10日(日)

和歌山をテーマにした紙芝居を募集しています。身近なふるさとを、日本の誇る文化である紙芝居にしてみませんか。最終審査会は、和歌山県立図書館メディア・アート・ホールにて制作者の実演を交えて行います(一般公開・無料)。



『図書館で涼もう! 2019』

夏休みには次のイベントも行います。詳しくはホームページで。

- 紙芝居を作ろう!
期 7月31日(水) 13:30～16:00
- 川の生き物を知ろう!
期 8月9日(金) 14:00～15:00

いずれも、休館日は月曜日(祝日の場合は翌平日)です。

*県立紀伊風土記の丘・県立博物館・県立近代美術館・県立自然博物館は有料ですが、高校生以下・65歳以上・障害者の方は無料です。詳しくは各館ホームページをご覧ください。

きのくに コミュニティスクール

「きのくにコミュニティスクール」とは、学校運営協議会を設置した学校（コミュニティ・スクール）とそれを支える既存の「きのくに共育コミュニティ」等との連携・協働により、社会総掛かりで教育を実現する仕組みです。
平成29年度から3年間で県内全ての公立学校に「きのくにコミュニティスクール」を導入します。県立学校は平成30年度に全て導入しました。



上富田町では、町内全ての学校（小学校5校、中学校1校）で学校運営協議会を設置し「きのくにコミュニティスクール」をスタートさせています。
また町内にある3つの県立校でも学校運営協議会を設置しており、これまで以上に校種を越えた学校間の連携や、学校・家庭・地域の繋がりを強めているところです。

学校運営協議会推進員が活躍

①各学校の現状を知り、校長先生の思いを聞き取る

各学校の取組が充実するように、学校運営協議会推進員が各学校を定期的に訪問し、行事や授業を見学したり、校長先生から今年度の取組や構想などを聞き取ったりしています。また、それぞれの学校・家庭・地域の状況を把握するために、各学校運営協議会にも参加し、協議会と共に考え、要請に応じた支援へとつなげています。

②コミュニティ・スクールについて説明する

コミュニティ・スクールについて知ってもらうために、年度始めの保護者会総会や1回目の学校運営協議会に参加し、保護者・教職員・学校運営協議会委員にコミュニティ・スクールの仕組みや既存の組織との違い、メリット等について説明を行っています。



上富田中学校学校運営協議会

上富田中学校の取組 ～上中学力向上応援隊～



学習支援ボランティア紹介式

上富田中学校では、昨年度、全国学力・学習状況調査の結果、家庭での学習に弱さがある実態が浮き彫りになりました。学校運営協議会で話し合った結果、希望する学校・学科に進学できる学力を定着させることを目的として、3年生を対象に、クラブ引退後の夏休みから補充学習を始めました。

2学期からは、学校運営協議会の協力で、教員とともに監督・指導にあたる学習支援ボランティアを募った結果、元教員の方々8名が「上中学力向上応援隊」として活動してくれました。毎週月曜日放課後の自主学習は、高校入試直前まで続き、回を重ねるごとに生徒の真剣さも増し、下級生への良きお手本ともなりました。新しい伝統行事として、本年度も引き続き指導していただく予定です。



ボランティアによる学習支援

きのくに教育めぐり

紀美野町教育委員会



紀美野町章



教育長挨拶

紀美野町教育委員会 教育長 東中 啓吉

紀美野町は人口約9000人の山間の町です。東西に長く西は海南市と東はかつらぎ町と接しています。学校数は、小学校3校、中学校2校の計5校です。次の目標を掲げ、子どもや保護者さらには地域の皆様の期待に応えるため日々努力しています。

「子どもが輝き 大人が学び続け
心豊かに生きる教育の町」
～かなえたい夢を持ち、新しい自分を発見し、
挑戦する心を育成する～

以下、紀美野町の特徴的な取組を2つ紹介します。

郷土愛溢れるひとを育成するために ～地域学習×ICT教育～

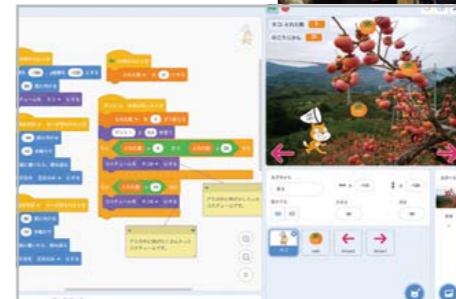
本町では、学習指導要領の改訂に先駆けて平成29年度よりICT教育をスタートし、本年度には町内全小学校3学年児童から中学校3学年生徒が使用できるよう、さらにICT環境を整備します。取組の特徴として、ICT教育を通じて地域を学び、紀美野町を誇りに思える子どもたちの育成を目指しています。そのため、教育委員会とまちづくり課が協同で事業を進めています。

また、学習効果をより一層高めるため、和歌山大学豊田充崇教授と連携し、授業づくりのサポートや指導助言の他、地域学習とICT教育を掛け合わせた授業のモデルケースを提案いただいたり、紀美野町の題材を生かしたロボット制御やゲーム制作を実施したりしました。

今後もICTという自由な発想を形に出るツールを最大限に生かし、紀美野町らしい活用を進めていきたいと思います。



ICTを活用した授業



授業で制作した特産物の柿を使ったゲーム(Scratch)

JAPAN HERITAGE 認定

『1300年つづく日本の終活の旅～西国三十三所観音巡礼～』

5月20日に『1300年つづく日本の終活の旅～西国三十三所観音巡礼～』のストーリーが、本県で5件目の日本遺産に認定されました。

人生を通して、いかに充実した心の生活を送れるかを考えることが日本人にとっての究極の終活であり、それを達成できるのが、西国三十三所観音巡礼です。

また、日本人の優しさや心遣いといった日本人の本来の心は「観音さん」の教えそのものであり、観音を巡り、日本人本来の豊かな心で生きるきっかけとなる旅、それも西国三十三所観音巡礼です。

① 第一番札所 那智山青岸渡寺

② 第二番札所 紀三井山金剛宝寺

③ 第三番札所 風猛山粉河寺

「日本遺産」は地域の歴史的魅力や特色を通じて、我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」として文化庁が認定するものです。



星空ツアー

満天の星空スポット「みさと天文台」

紀美野町立みさと天文台では、木曜～日曜の夜に「星空ツアー」という、星の観望会を実施しています。お天気が良く月明かりの無い夜には、街中では決して見ることの出来ない無数の星や、夏から冬にかけては天の川を肉眼で見られるという体験をしていただけます。

また、土日祝日の昼間には、プラネタリウムと宇宙旅行が体験出来る、3Dシアターの上映も行っています。どちらも解説員による生解説で、楽しく星座や星について学べます。学校などの団体利用も活発です。



高校生の大型望遠鏡を使った実習